

新バージョン	<ul style="list-style-type: none"> ■ MVN 2018(Link/Awinda 共通) ■ Awinda システム: AW-A2 FW 4.3.4, AW-DNG2 FW 4.3.4, MTw2 FW 4.3.4 ■ Link システム: BP FW 1.1.7, MTx2 FW 1.1.7 ■ FirmWare Updater: 4.2.1
旧バージョン	<ul style="list-style-type: none"> ■ MVN Studio 4.4 (2017/3, 正式リリースバージョン) ■ Awinda システム: AW-A2 FW 4.3.1, AW-DNG2 FW 4.3.1, MTw2 FW 4.3.1 ■ Link システム: BP FW 1.1.4, MTx2 FW 1.0.10 ■ FirmWare Updater: 4.1.1
リリース日	2017/11/7
アイコンの意味	[+]追加機能、[^]変更機能、[!]注意点、[#]改良点、[-]削除機能

1. イントロダクション

このリリースノートには MVN Studio の最新バージョンである、MVN Analyze / Animate 2018 の詳細について記載しています。新しい Analyze / Animate エンジンあらゆる条件下での大幅なパフォーマンス向上を提供します。新しいキャリブレーション方法によって、磁気の影響下での計測することが可能となりました。また新しい3D アバターとインターフェースによって、GUI が更新されました。

注記: 新しい機能と更新された安定性をご利用いただくために、MVN システム(MVN Link/Awinda)のファームウェアを更新する必要があります。FirmWare Updater 4.2.1(FWU)をダウンロードしてください。

2. 主な改良点と新機能

2.1 MVN 2018

- + 新しいモーションキャプチャエンジン (Analyze エンジン & Animate エンジン)
- + キャリブレーション手順の更新 (N ポーズ + ウォーキング)
- + .MVNX 形式でデータを出力する際に、設置情報を出力可能
- + バッチ出力にリプロセス HD 機能を追加
- + 新しい MVN アバターと3D 環境
- + ユーザーインターフェースの更新: "New session dialog" と "Hardware Status" をリデザイン
- + レイアウトと3D ウィンドウデザインをセーブ / ロード可能

3. バグフィックス

3.1 MVN 2018

- # MVN Awinda で、プロップセンサーをアクティブにすると、常に認識
- # プロップセンサーを使用する際の様々なバグを修正
- # MVN(X)での座標フレームの不一致を修正
- # OBR モードでスイッチボタンが機能しなかったバグを修正
- # "Copy selection to new MVN file" を実行した際に "Define X-axis" の情報もコピー
- # 複数の MVN Lin システムを使用した際に、大きな遅延が発生することがあったバグを修正
- # Link システムを使用している際にバッファがいっぱいになると、MVN は自動的にレコーディングを停止

3.2 MVN SDK

- # 有効なライセンスがない場合に、"meaningless" のエラー表示なし
- # MVN SDK のプリビルドされたサンプル "Showcase.exe" クラッシュするエラーを修正

3.3 ファームウェア

- # MFM に関連した MVN Awinda のファームウェアのバグを修正

4. マイナーアップデート

4.1 MVN 2018

- + MVN 2018 でのビューポートの全画面表示機能を追加
- + プロップセンサーのキャリブレーションを改善
- + リファレンスビデオの設定を、"New Session" ダイアログに追加
- + シンクステーションの設定を "New Session" ダイアログに追加
- + プロップセンサーの設定を、"New Session" ダイアログに追加
- + オンボディレコーディングに関連する手順とダイアログを改善
- + MVN Awinda での拡張バッファリングの有効 / 無効にする機能を追加
- + "Soft Access Point" のステータスを改善

- + ネットワークストリーミング機能で、ターゲットごとに異なるプロトコルでのストリーミングが可能
- + UI; 様々なメニューアイテムが移動され、ワークフローを合理化
- + MVN インストーラへの MFM を追加
- + .MVNX と Network Streamer からセンサーデータの項目を削除
- + シンクステーション機能の改善
- + “Pelvis fixed”のシナリオを、“No level”シナリオへ名称変更
- + MVN Link システムでの、より安定した無線通信の改善
- + 長時間(2 分以上)、無全通信範囲外にいた時のシステム制御の改善

4.2 MVN SDK

- + SDKドキュメントの更新(examples, キャリブレーションの説明)

4.3 ファームウェア

- + ボディバックのローミングの最適化
- + ボディバックへの接続に関する安定性の問題の改善

5. 確認されている問題点

- ! 容量がいっぱいになっている SD カードの入ったボディバックで OBR を行うと、最後のレコーディングデータを削除する
- ! プロップセンサーを含む OBR レコーディングデータのインポートできない
- ! マルチアクターでのライブグラフが正しく動作しない
- ! ハードウェアステータス枠で、使用されていないプロップセンサーが“Unknown”と表示される
- ! MVN SDK のドキュメントに、Visual Studio 2012 と表記(2015 の変わりに)